



〔海の状況(7/21~8/20)〕

神子表面水温……気候の変動による影響がみられるものの、期間の中頃は平年並み(平年より±0.5℃)からやや低め(平年より0.5~1℃低め)、以外の期間はやや高め(平年より0.5~1℃高め)からかなり高め(平年より1~1.5℃高め)となった。

米ノ表面水温……気候の変動による影響がみられるものの、期間の前半はかなり高め、後半は平年並みで推移した。

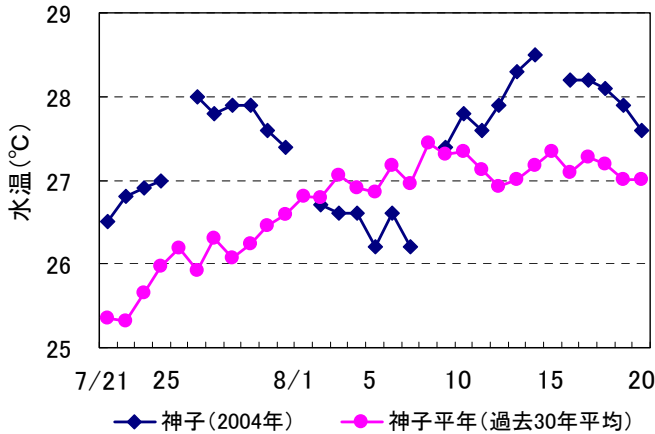


図1 三方町神子地先における表面水温の推移

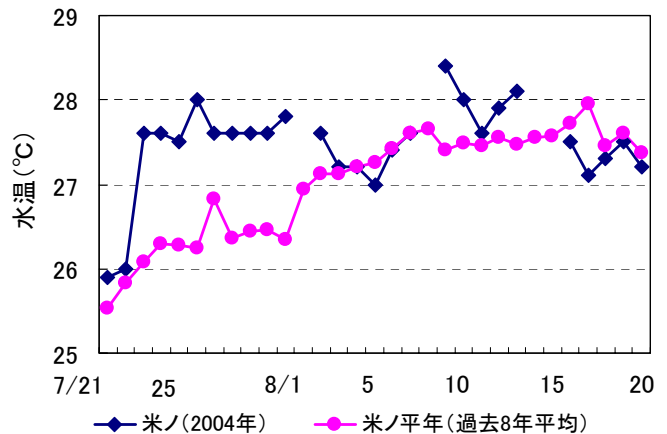


図2 越前町米ノ地先における表面水温の推移

100m深水温……丹後半島北北西沖合に冷水域が見られ、若狭湾沿岸域は19℃台の水域が広がっていた。

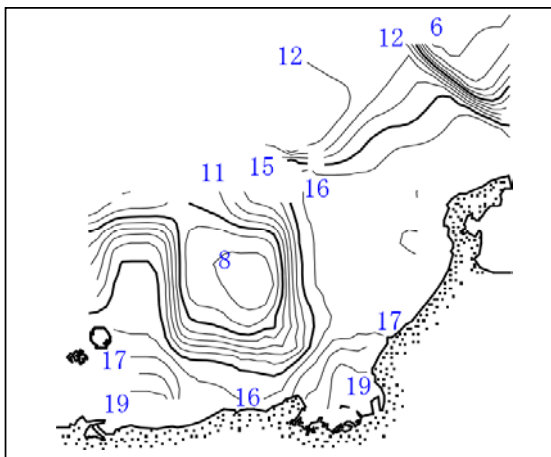


図3 2004年8月上旬の100m深水温

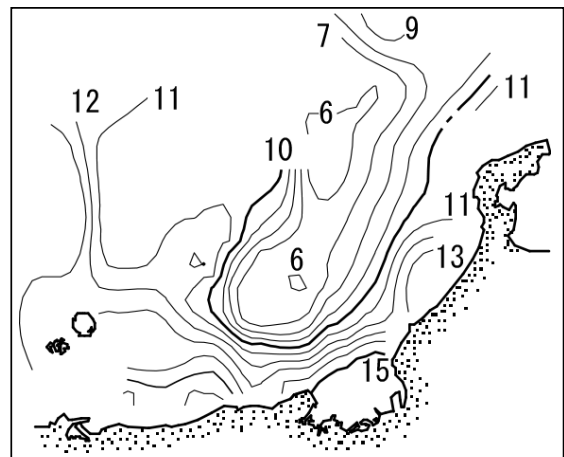


図4 2003年8月上旬の100m深水温

養殖魚の新薬紹介

トラフグのヘテロボツリウムに対する新しい薬が承認されました。商品名は「マリンバンテル」で、明治製菓(株)と熊本県水産研究センターが共同開発した経口タイプの駆虫剤です。使用方法は以下のとおりです。

- ・効能・効果：フグ目魚類におけるヘテロボツリウム(*Heterobothrium okamotoi*)の駆除
- ・用法・用量：1日1回、魚体重1kg当たり、本剤50~100mgを飼料に均一に混ぜて5日間経口投与する。
- ・休薬期間：食用に供するために水揚げする前21日間

薬を使用する場合は、使用対象動物、用法および用量、休薬期間を守って使用してください。

(倉 有里恵)

## 〔漁の模様〕

2004年7月の県内の総水揚量は968tで、2003年同月を176t上回った。シイラ（2004年21t、2003年50t）、サワラ（26t、50t）、トビウオ（43t、58t）、ケンサキイカ（4t、34t）等は下回ったものの、ブリ類（297t、25t）が大きく上回ったほか、スズキ（19t、11t）、スルメイカ（69t、45t）等は上回った。

## 漁業種類別の状況

定置網 …… シイラ、サワラ、トビウオ、ケンサキイカ等は下回ったものの、ブリ類【ハマチ主体】が大きく上回り、全体で177t上回った。

底びき網 …… ハタハタ、アカエビが上回り、全体で6t上回った。

（小底：6～8月休漁期間）

釣り・他 …… ケンサキイカ、タコ類が下回ったものの、キダイ、スズキ、スルメイカ【船凍イカ主体】が上回り、昨年並みの漁獲となった。

## 〔県内主要漁業の7月の漁獲量〕

（調査対象市場：三国・越廼・敦賀・早瀬・小浜の各漁連支所、福井市・越前町・若狭高浜の各漁協）

（単位：kg）

定置網			
魚種	2004年	2003年	94-03平均
カタクチイワシ	15,743	20,661	122,817
アジ類	157,838	154,041	247,512
サバ類	5,117	10,590	38,547
カジキ類	7,461	5,674	2,859
カツオ類	9,684	2,098	14,373
ブリ類	296,054	22,803	129,888
ヒラマサ	1,608	3,571	4,842
シイラ	21,243	49,930	9,107
サワラ	26,320	48,925	20,874
トビウオ	41,045	58,053	88,391
マダイ	7,832	8,816	10,178
スズキ	6,720	3,464	2,283
ヒラメ	3,342	769	1,687
カマス	6,455	2,806	5,776
スルメイカ	3,449	5,086	1,781
ケンサキイカ	1,737	19,943	24,112
その他	18,522	35,775	73,573
合計	630,171	453,006	798,599

釣り、延縄、さし網、その他			
魚種	2004年	2003年	94-03平均
アジ類	1,438	4,796	2,060
サバ類	105	385	430
ブリ類	960	2,450	1,635
トビウオ	2,687	0	166
マダイ	4,387	4,598	6,567
キダイ	4,718	2,903	2,918
アマダイ	7,562	6,036	10,339
スズキ	11,950	7,590	6,743
ヒラメ	2,703	1,030	3,483
その他カレイ	3,203	3,366	6,500
カマス	910	0	112
タチウオ	1,198	134	22,782
アナゴ	2,139	1,844	2,286
メバル類	3,611	3,726	4,222
キス類	1,428	658	1,049
スルメイカ	65,116	40,136	180,441
ケンサキイカ	2,759	14,324	25,412
アオリイカ	378	277	164
タコ類	36,226	43,165	38,707
その他エビ	2,216	1,680	3,197
その他	146,378	161,149	131,862
合計	302,072	300,246	451,077

底びき網			
魚種	2004年	2003年	94-03平均
カレイ類	876	580	1,379
ハタハタ	2,060	460	32
アカエビ	41,412	37,642	47,320
その他	1,162	446	991
合計	45,509	39,128	49,721

総計	2004年	2003年	94-03平均
	968,307	792,380	1,249,072

## 〔近府県の漁模様〕

（7月下旬から8月中旬の漁獲状況…1日1隻または1統あたり。京都府の定置網漁獲量は舞鶴漁港への1日あたりの水揚量。）

石川県 …… 定置網 …… アジ121kg、フクラギ43kg、カタクチイワシ47 kg、コゾクラ41kg

京都府 …… 定置網 …… カタクチイワシ4.4 t、ブリ1.4 t、マアジ1.5 t、サワラ0.7 t

兵庫県 …… 定置網 …… アジ209kg、トビウオ類70kg、ツバス51kg、ウルメ26kg

鳥取県 …… まき網 …… ウルメ10.5t、ブリ類8.9t、マアジ7.5t、マイワシ1.9t

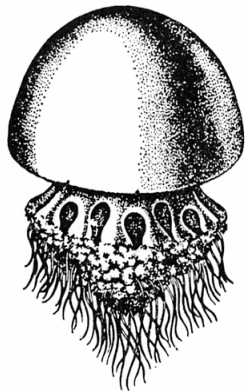
（松宮 由太佳）

## 大型クラゲの同定方法について

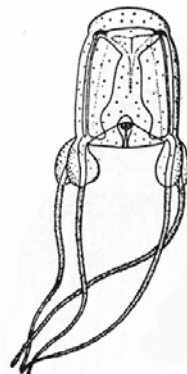
今年の6月頃から日本海府県の水産試験場に大型クラゲを目撃したとの情報（数量は2～3個体まで）とともに、昨年発生した「エチゼンクラゲ」ではないかといった問い合わせが各地で寄せられました。入手できたクラゲを専門家に見てもらったところ、「エチゼンクラゲ」ではなく「ヒゼンクラゲ」や「ユウレイクラゲ」であることが判明しました。この2種類とも、大きいものでは傘の直径が50cmに達することが知られています。県内においても定置網への入網報告受け、「ユウレイクラゲ」であることを確認しています。こうした状況から、（独）日本海区水産研究所において、大型クラゲの中でも外観だけでは同定が難しい、「ヒゼンクラゲ」、「エチゼンクラゲ」の見分け方を作成しましたので、その紹介と合わせてクラゲの分類について簡単に説明します。

### 《クラゲの分類》

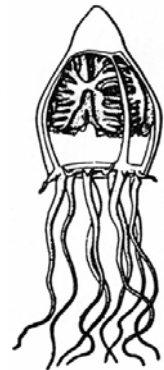
一般に、腔腸動物の中で浮遊生活をしているものを「クラゲ」と総称し、わが国周辺海域でも200種以上が知られています。また、クラゲ類は体の構造や生殖腺の位置等から、①鉢虫類<例：ミズクラゲ、ビゼンクラゲ、エチゼンクラゲ>、②箱虫類<例：アンドンクラゲ、ハブクラゲ>、③ヒドロ虫類<例：エボシクラゲ、オワンクラゲ>の3グループに分けられます（図1～3参照）なお、本県にも出現する大型クラゲの「ユウレイクラゲ」と、全国各地でみられ刺されると非常に痛い「アカクラゲ」を参考までに示しました。



←通常 25～30cm、の直径で、50cm に達するものある。



←傘高さ 30～35mm、傘幅 25～30mm の大きさ。

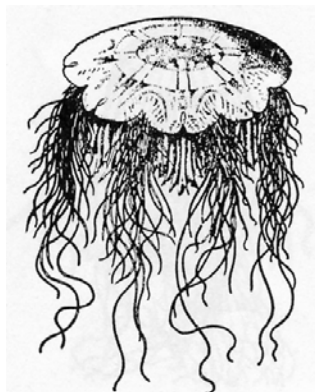


←傘高さ 10mm、傘幅 6mm の大きさ。

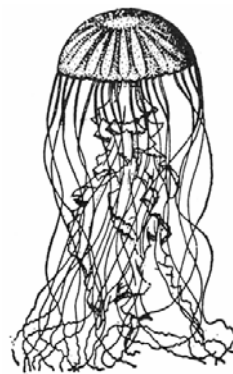
図1. 鉢虫類(ビゼンクラゲ)

図2. 箱虫類(アンドンクラゲ)

図3. ヒドロ虫類(エボシクラゲ)



通常 25～30cm、の直径で、50cm に達するものある。



←傘の直径は 9～10cm の大きさ。

図4. ユウレイクラゲの仲間

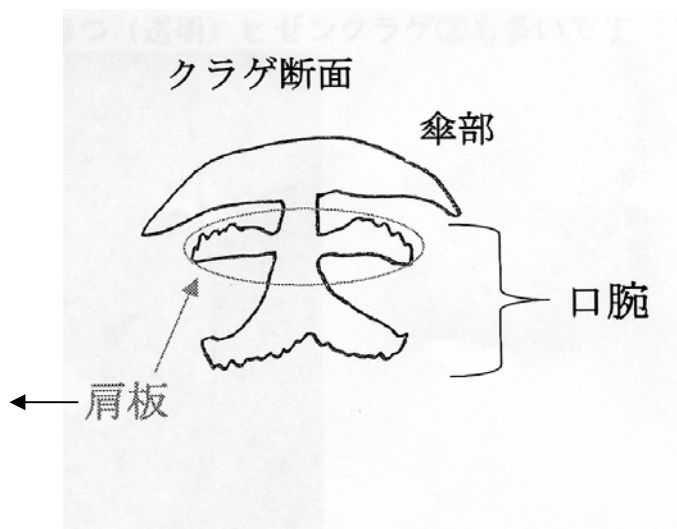
図5. アカクラゲ

※図は新日本動物図鑑から引用

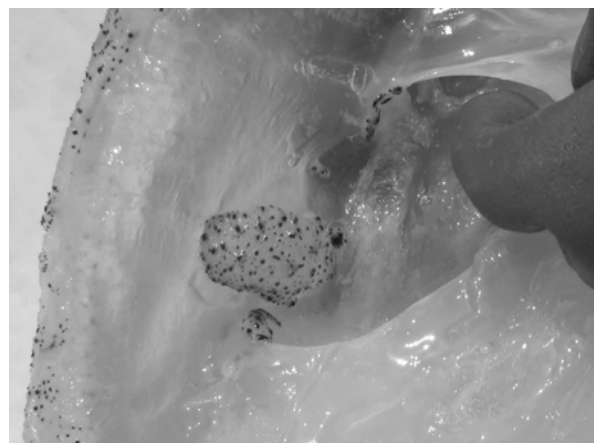
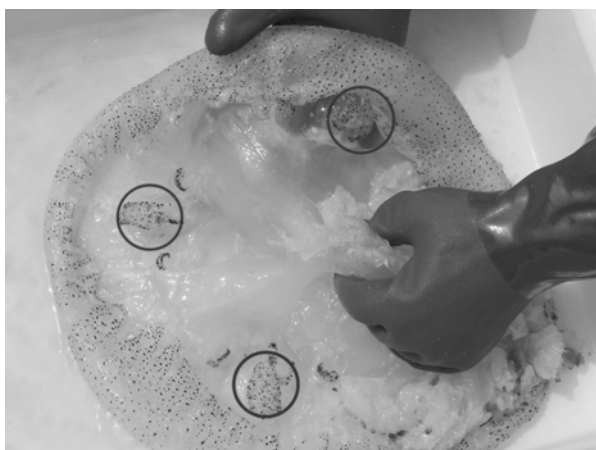
## 《大型クラゲの同定方法》

(注意：写真はすべてヒゼンクラゲです)

- 1・口腕の部分が大きく、肩板（丸印）があれば、ビゼンクラゲ①、ヒゼンクラゲ②、エチゼンクラゲ③、のどれかになります。



- 2・傘の表面に「つぶつぶ」がなければ、ビゼンクラゲ①で、傘の表面に「つぶつぶ」があれば、ヒゼンクラゲ②か、エチゼンクラゲ③のどちらかといえます。
3. 傘をひっくり返して、根口の付け根あたり（生殖腺下腔）に4つの突起（丸印）があれば、ヒゼンクラゲ②もしくはビゼンクラゲ①で、突起がなければエチゼンクラゲ③です。



### 4. 補足

- ヒゼンクラゲ②の「つぶつぶ」は茶色ですが、色のない「つぶつぶ」を持つ透明ヒゼンクラゲ②もみられます。
- ビゼンクラゲ①は、傘は青っぽい色、根口は茶色をしていることが多いようです。
- ヒゼンクラゲ②は、全体が白っぽい色をしていることが多いようです。

(安田 政一)